

平成 25 年度補正予算「汚染水処理対策技術検証事業」について

1. 事業の目的

東京電力(株)福島第一原子力発電所 1～4号機(以下「福島第一原発」という。)における汚染水対策については、平成 25 年 12 月 10 日に、汚染水処理対策委員会にて「東京電力(株)福島第一原子力発電所における予防的・重層的な汚染水処理対策～総合的リスクマネジメントの徹底を通じて～」が取りまとめられ、これを受けて、同年 12 月 20 日に政府として、「東京電力(株)福島第一原子力発電所における廃炉・汚染水問題に対する追加対策」が取りまとめられたところ。

追加対策においては、効果が期待されるが、活用するに当たって確認・検証が必要な技術のうち、技術的に難易度が高いものについて、技術の検証を進めていくこととしており、今回、本事業においては、「2. 公募対象事業」に記載する技術の検証を行う。なお、「2. 公募対象事業」に記載する技術以外についても、今後、技術の検証を行う可能性がある。

2. 公募対象事業

(1) 海水浄化技術検証事業

現在、福島第一原発の港湾外や港湾口における放射性物質濃度は、低いレベルにとどまっているものの、港湾内の 1～4号機取水路前の一部のエリアでは、濃度が一定濃度以下に低下しない状況にあることにかんがみ、海水中における、主として放射性セシウム、放射性ストロンチウム等の浄化技術について、その除去性能を検証するため、実証試験を行う。

(2) 土壌中放射性物質捕集技術検証事業

福島第一原発における汚染水の漏えいを踏まえ、一定以上の塩化物イオン濃度下(200ppm 以上)における、土壌中の放射性物質(主として放射性ストロンチウム)捕集技術の捕集性能を検証するため、実証試験を行う。

(3) 汚染水貯蔵タンク除染技術検証事業

福島第一原発サイト内では、ボルト締め型タンクから、溶接型タンクへのリプレイスを順次実施することとなっているが、解体作業における作業員の被ばくを低減する観点から、複雑な構造を有する、ボルト締め型タンクにおいて、内部に貯留する汚染

水を排水し、解体する前の作業として行う除染作業について、除染性能を検証するため、実証試験を行う。

(4) 無人ボーリング技術検証事業

福島第一原発内では、今後もボーリング工事が必要不可欠であるところ、ボーリング作業時における作業員の被ばくを低減させる観点から、高線量下での無人ボーリング性能を検証するため、実証試験を行う。

3. 事業実施期間

契約締結日～平成27年3月31日

4. 応募手続き

(1) 募集期間

募集開始日：平成26年3月24日（月）

締切日：平成26年5月19日（月）日本時間正午必着

(2) 説明会の開催

4月8日（火）に実施し、インターネット上で国内外向けに配信。